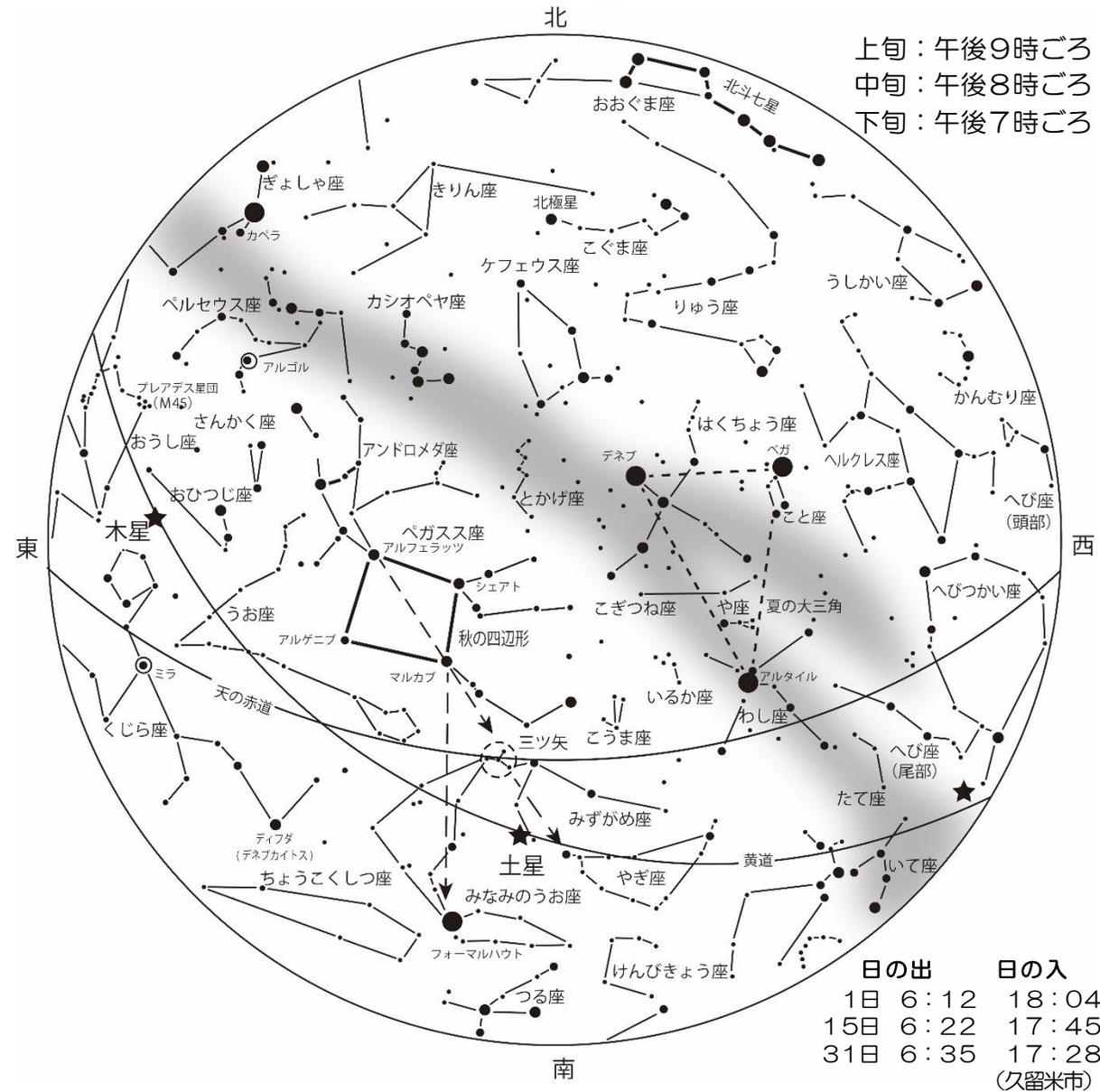


令和5年 10月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



★10月の星空案内

日の入りの時刻も早くなり、日増しに秋の深まりを感じるようになってきました。この時期の夜空では、南の空に土星が、東の空には木星が輝いています。また、空の高い位置にはまだ夏の大三角が見えています。そして、東の空は秋の星座が見えるようになりました。

秋の星座を見つけるには、南東の空にある四角形の星の並びを目印にペガサス座を探す所から始めましょう。アルフェラッツ・シェアト・マルカブ・アルゲニブの4つの星でつくる四角形の星の並びは『秋の四辺形』とも呼ばれ、秋の星座さがしのガイド役になります。まず、アルフェラッツとマルカブを結んだ線を地平線の方にのばすとアルファベットのYの字のような星の並びを見つけることができます。この星の並びは『三ツ矢』と呼ばれるみずがめ座を見つける目印になります。アルフェラッツとマルカブを結んだ線を三ツ矢からさらにのばしていくと、逆三角形の星の並びを目印にやぎ座を見つけることができます。また、今月はみずがめ座とやぎ座の近くに土星が明るく輝いているので、土星を手掛かりに探してもよいでしょう。次にシェアトとマルカブを結んだ線を地平線の方にのばすと1等星のフォーマルハウトを目印にみなみのうお座を見つけることができます。フォーマルハウトは『南のひとつ星』とも呼ばれています。

10月は『秋の四辺形』や土星をたよりに、秋の星座を探してみたいはいかがでしょうか。

【見ごろの惑星】 (☆マークは、今月のおすすめです。)

- ☆水星 (-1.3 等前後) : しし座→てんびん座付近 観望に適さない。
- ☆金星 (-4.6 等前後) : しし座座付近 日の出前、東の空でひととき明るく輝く
- 火星 (1.6 等前後) : おとめ→てんびん座付近 観望に適さない。
- ☆木星 (-2.9 等前後) : おひつじ座付近 日の入り後、東の空で明るく輝く。
- ☆土星 (0.6 等前後) : みずがめ座付近 日の入り後、南の空で明るく輝く。

注目の天文現象(10月) ～金星に近づく月と木星に近づく満月を観察しよう～

10月は上旬に金星、下旬には木星にそれぞれ月が近づきます。まず、10月9日(月)～11日(水)にかけて、日の出前の東の空に輝く金星に月が近づきます。この月は15日(日)に新月となるため、少しずつ細くなる月の様子を見ることができます。この時の月の向き(傾き)にご注目ください。下側が光っている細い月が見られることでしょうか。これは、地平線より下にある夜明け前の太陽の位置が、ちょうど月の真下に近い位置にあるためです。この月は真下に位置する太陽の光を受けて光っているので、まるで寝ているような月の姿を見ることができます。

次に、10月29日(日)20時ごろ、東の空で輝く木星に月が近づきます。この日、月は満月になるため、とても明るく輝いています。そして、月から少し離れたところで木星も満月の光に埋もれることなく輝いています。ぜひ観察してみてください。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
6	金	☾ 下弦 (22:48)	24	火	金星が西方最大離角
15	日	● 新月 (2:55)	29	日	○ 満月 (5:24) 部分月食 (5:14)
22	日	☾ 上弦 (12:29) オリオン座流星群が極大			